

アプリケーション開発時に利用可能な Eagle Eye API 検証環境をご用意しています

Eagle Eye パートナーアプリケーション開発ご担当者様向けに、Eagle Eye API 連携の検証をいつでも実施していただける環境をご用意しています。

検証作業やパートナー様のアプリケーション開設のスピードアップに是非お役立てください。

CAMSSセンターの Eagle Eye 検証環境概要

環境機器

Eagle Eye ブリッジ、PoE ハブ、カメラ、常時稼働被写体（時計）

Eagle Eye Networks は単体でももちろん利用できますが、API を使用して様々なアプリケーション、ソリューション、機器と連携することで利用用途が大幅に拡大します。

また運用の自動化や、重要な証拠・動画、画像の保存など、お客様の利便性を高めるためにもご利用いただけます。専門のエンジニアがサポートするのでぜひご相談ください。

API 利用ガイド : <http://www.iguazu-eagleeye.jp/support/sp15120201-21/>



活用例① 検品作業動作の“一発検索ソリューション”

入出庫管理での過去の作業映像を日時、キーワードで一発検索。Eagle Eye に保存された作業動画から、クレームやお問合せ対応時に必要な動画を表示し速やかな対応を実現。いつでもどこでも作業の様子や進捗の確認が可能となり、現場の改善や見直しが行い易い環境を提供します。

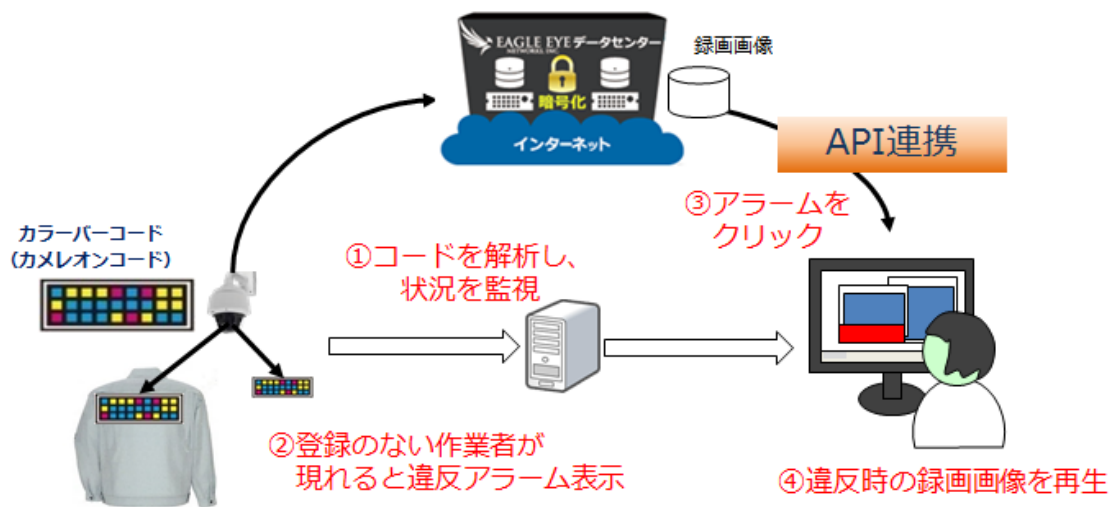


- 1) 作業動画に加え、音声作業の会話フローもテキストで同時に確認できるため、作業ミスが起きた瞬間を即座に断定することが可能です。
- 2) 動画は自動でクラウド上に保存されるため、いつでもどこでも作業の様子や進捗を確認可能です。簡単に動画が見えることで、現場の改善や見直しが行いやすくなります。

活用例② 食の安全ソリューション 作業者所在管理「いろあと」との連携

「いろあと」は株式会社インフォファーム様の食の安全ソリューションでカラーバーコード（カメレオンコード）を利用し、画像から何時、誰が、何処にいるのかを認識します。作業者の個別認識は作業者の帽子、ユニフォームに印刷してあるカラーコードのカメレオンコードをカメラが読み、解析し行っています。アラーム内容を動画で一部始終の確認が可能となります。

連携には「いろあと」側に SDK のような、何かを導入したり設定する必要はありません。Web アプリケーション開発者には馴染みのある REST API として提供しておりますので、Eagle Eye を「動画録画/再生機能」の部品としてすぐに利用が可能となります。



パートナーさまの声

「Eagle Eye API を活用し、自社アプリの利用用途を具体的に検討することができた」

「カメラ関係既存アプリへの機能拡張を検証できた」

「今後の参入にあたり、Eagle Eye の API 活用の理解が深まった」